

1 1 組同級会を上田で

現地幹事：高津（志摩）律子

「次回の同級会幹事は女性」の希望を受け、8月23日（水）、上田東急 REI ホテルでの開催に向け、常任幹事の中山正光さんの支援を受けながら準備を進めてきました。同級生 44 名のうち、6 名が物故者となっていますが、38 名中 20 名から出席の連絡がきました。

残念ながら、担任の上原孝先生は欠席でしたが、ホームに移られお元気に過ごされております。お馴染みの司会進行役の羽田義久さんの音頭で故人を偲び黙とうで始まりました。

以下は主な単語ですが、多種多様な近況報告を拝聴。福沢源一郎さん差し入れのシャインマスカット、クインルージュを味わいながら、驚いたり頷いたりしての 2 時間があっという間に過ぎました。

『ピアノ、バスケ応援、胆管がん手術、敗血症、コロナ、緑内障手術、高血圧、運転免許証返納、平浩二と前川清は同級生、同級生自慢、頸椎損傷、転落事故、長野大学公立化、デジタルサイエンス学部、医師一区切り、コメ作り、雑草取り、医療の方向性、大学イベント開催、「航」同人、ゴルフ俳句、会社経営 50 年、クルミ、「チャンドラー」、M&A、年金百姓、膠原病、ぶどう栽培、料理教室、食事作り、愛犬 17 歳、物忘れ、東海道 53 次宿場名・駅名、テニス、ジム、市民大学、町内会役員、事業の後継者、水泳、フランス語、結婚 50 周年、高尾山 8 年間完歩、夫婦で熊野古道、機織り、綿花、ルバーブ など』

今年の 4 月から公立長野大学の学長として、デジタルサイエンス系学部開設の舵取りに当たっている小林淳一さんは、秋祭りが終わると晴れの日がない季節に変わる秋田との違いから上田帰郷を実感しているそうです。因みに現在の長野大学は、私たちが高校を卒業する年に本州大学として開学しています。

最後は、次回喜寿の同級会幹事を岡田修さんと小林淳一さんが引き受けてくれて、更に羽田さんが今秋に収穫する貴重なクルミ「チャンドラー」をプレゼントしてくれるという嬉しいサプライズをお土産に、村岡篤史さんが集合写真を撮影して散会となりました。

幹事：菊地（守田）暁子

高津さんには、現地幹事ですっかりお世話になりました。そして万年幹事さんにもお手数をおかけしました。お陰様で、無事済みましてホッとしています。

出席された皆様のお話にも、近況を聞かせていただきまして参考になることもありまして、楽しかったです。

次の77歳の会でも、お互い元気でお会いしたいものです。

次の幹事さん、よろしく願いいたします。

幹事：米山（藤原）純子

駒ヶ根から乗った電車は通学電車でした。重そうなリュックを背負ってスマホを片手にイヤホン、今どきの高校生たち。我々の頃とは大分違うなと思いました。

同級会では近況報告などをしました。ベビーブームの中で育ち、バブル崩壊を経験し、今や団塊の世代と呼ばれています。そんな時代を生きてきた皆様のお話は自信と誇りに満ち、自慢できる同級生だと思いました。閉会后、女子組は高津さんに「無言館」に連れて行ってもらいました。戦時下の学生、私たち、今どきの高校生、それぞれの青春、私たちはいい時代を送ったなどの思いを新たにしたい同級会でした。

上原先生、11組の皆さんに感謝です。



前列左から、小林、菊地、高津、米山、荻久保、倉沢、中山、松村、
後列左から、羽田、清水公男、岡田、丸山、小出、山岸、牧野、福沢、居鶴、村岡

(2023年9月7日記)

以上